

令和4年度 第5回磐田の未来を語る会 懇談記録

日時：令和5年3月19日（日）10時30分～12時
場所：ワークピア磐田 第1会議室

1 参加者の質問・意見

【1】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・日本はIT分野が非常に遅れていると感じており、シニア層はスマホを使い切れていない ・そういった状況を自分達で変えていくため地元の公会堂でシニア向けのスマホ勉強会を立ち上げた ・公会堂にWi-Fiを導入するのに自治会の理解を得るまで大変苦労した ・生涯学習の一環として、スマホ勉強会などの取り組みを市でも支援してほしい ・市のLINEを使った広報活動は評価するが、使い勝手の更なる向上を期待している ・交流センターの施設予約は旧態依然のままであり、早期にオンライン化してほしい ・日本人は英語力が低いので、世界で活躍できる人材を育てるためにも子どもの英語力を上げる取り組みを市でも検討してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ勉強会は素晴らしい取り組みだと思うし、応援していきたい ・シニア層にとってもスマホは重要なツールであり、こうした視点をもって活動してくれている方がいることは大変心強い ・公会堂のWi-Fi設置を含め先進的な取り組みだと思うので、市内の状況は一度確認してみたい ・交流センターの予約については、時代に応じて変わっていく必要があると思うので、オンライン化されていない理由を確認する ・幼児への教育を含め英語や外国語を使ってコミュニケーションをとれる場づくりを検討したいと思う

【2】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・大学でコミュニティや災害について学んでいる ・地域の防災訓練に参加したが、高齢者が多いことによる課題が考慮されていないと感じた ・発災時における共助には地域コミュニティが重要だが、コロナ禍を経て、地域行事が整理されたことにより、磐田市でも都会と同じように希薄化が進んでいると感じる ・同じ市内でも地域差があると感じるが、地域コミュニティを維持しつつ、災害の時にもお互い助け合える市になってほしいと思っている ・図書館を学習の場としてではなく、人が集まる場所としても活用してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・私自身も同じ防災訓練に参加したが、幅広い世代が参加している印象を持つと同時に実際に地震がきた場合を想定すると一考の余地があると感じた ・災害については、防潮堤を早期に完成させるのが自分の使命だと考え取り組んでいるが、行政が及ばない範囲は自助や共助で支えていただく必要がある ・市内でも地域コミュニティに濃淡があるのは事実 ・昨年の台風による災害の際も、地域コミュニティの力が強いところは、復旧が早かった印象 ・地域に顔を出す中で、コミュニティの力を取戻すことが皆さんにとってもメリットがあることを伝えながら災害に強いまちにしていきたい

	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の使い方や機能は見直していく時期に来ていると感じているので人が集まる場としての機能等を検討していきたい
--	---

【3】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・袋井市在住で磐田市内の企業に勤務している ・ジュビロードに設置されている選手の足型について、設置から何十年も更新されていないので更新してほしい ・福田地区の人から命山を作ってほしいという要望を聞いた ・磐田市役所の対応は以前に比べてよくなったと聞いている ・袋井市から見ても磐田市はいい市だと思う ・寺院や徳川家康関係の史跡も多い ・最近、城之崎城跡の案内看板が整備されていてよかったと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・他市から見た印象を聞けるのは貴重であり、ありがたい ・ジュビロードの足型は何とかしたいと思っているが、優先順位が高くないのも事実であり、将来的に無電柱化の工事の際に方向性を決めることになると思う ・命山は必要だと思うが、広い土地が必要であり、磐田市では津波避難タワーを整備した ・防潮堤完成後の次の段階で命山も検討することになると思う ・市役所の対応については、現状に満足せず来庁者に寄り添ったやさしい対応ができるよう、今後も頑張っていきたい ・家康関連の史跡については大河ドラマの放送を機に整備を進めている

【4】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年11月の小規模多機能自治のシンポジウムに参加し、その重要性に気づいた ・それまでも自治会の行事に参加してきたが、旧態依然なことばかりで納得できないことが多かった ・自分が住む地区を何とかしたいと考え、自治会の改革に向けた活動を始めている ・市のゼロカーボンシティの表明はとてもいい取り組みだと思う ・自分でも義父が行っているメロン栽培を通じて農業界のエネルギー革命をしたいと考え、使用する化石燃料を削減するため活動している ・カーボンニュートラルなどを学ぶ場があれば積極的に参加していきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会など歴史の長い組織では、新しいこと、変化には当然反発も起きる ・自分の地域の背景や歴史を知り、それを紐解きながら、それを大切にしている人たちを巻き込んで、納得してもらった上で変えていくという手法をとらないと変わっていかないと思う ・時間も労力もかかるが、動きだせば一気に変わっていくのではないかと ・同世代で仲間をつくることも重要だと思う ・カーボンニュートラルについては勉強会を自分達で立ち上げるのもありだと思う ・シンポジウムを開催して、そこに市長として参加していくことや市として後押ししていくことは可能だと思う